

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート

【胃がん検診（胃部エックス線検査）】

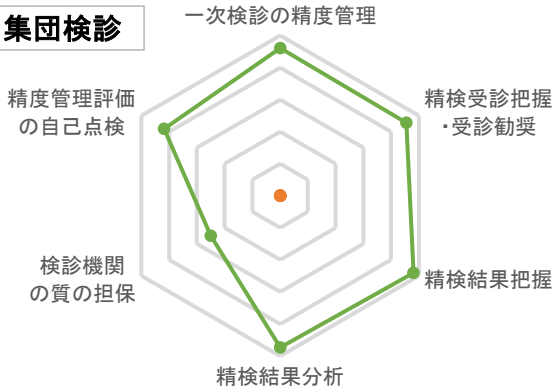
令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

検診方式 胃部エックス線検査	対象年齢 50歳以上 ※当面は40歳以上も実施可	受診間隔 2年に1回 ※当面は毎年実施も可	指針外の検査方法
個別	○	1年に1回	ヘリコバクターピロリ抗体検査のみ(20歳)

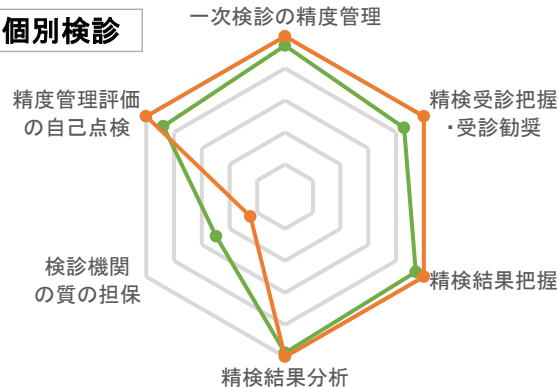
令和7年度の技術・体制指標

集団検診



	東京都	大田区	評価
実施率	84.1%		

個別検診



	東京都	大田区	評価
実施率	84.3%	85.5%	C

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがん検診の正しい情報を伝えましょう。

令和5年度の受診状況

※50～69歳の、胃内視鏡検査を含めた受診率＝（令和5年度受診者数＋令和4年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数
対象者数は、調査によって算出した住民検診の対象人口率（52.2％）を対象人口に乗じた値

	男性	女性	合計
対象者数	49,518	46,232	95,750
受診者数	2,912	4,221	7,133
受診率	11.0%	17.3%	14.0%

◆要精検率

要精検率が基準値を超えており、過剰に陽性と判定している可能性があります。検査や判定の方法について改めて点検し、適切な精度管理に努めてください。

◆精検受診率

精検受診率が基準値を満たしておらず、精検未把握率が高くなっています。結果把握の体制を整備し、徹底した精検結果の追跡に努めてください。

◆陽性反応適中度・がん発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。

令和5年度のプロセス指標

※50～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区	
			集団	個別
要精検率	7.0% 以下	5.4%	7.9%	7.9%
精検受診率	90.0% 以上	64.1%	86.7%	86.7%
精検未受診率	－	6.6%	4.2%	4.2%
精検未把握率	－	29.2%	9.1%	9.1%
陽性反応適中度	1.1% 以上	0.7%	0.6%	0.6%
がん発見率	0.08% 以上	0.04%	0.05%	0.05%

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
【胃がん検診（胃内視鏡検査）】

令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

検診方式 胃内視鏡検査	対象年齢 50歳以上	受診間隔 2年に1回	指針外の検査方法
個別	○	○	ヘリコバクターピロリ抗体検査のみ(20歳)

令和7年度の技術・体制指標

集団検診

一次検診の精度管理

精度管理評価
の自己点検検診機関
の質の担保

精検結果分析

精検受診把握
・受診勧奨

精検結果把握

— 東京都
— 大田区

個別検診

一次検診の精度管理

精度管理評価
の自己点検検診機関
の質の担保

精検結果分析

精検受診把握
・受診勧奨

精検結果把握

	東京都	大田区	評価
実施率	64.0%		

	東京都	大田区	評価
実施率	84.0%	82.3%	D

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行いましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

令和5年度の受診状況

※50～69歳の、胃部エックス線検査を含めた受診率＝（令和5年度受診者数＋令和4年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数
対象者数は、調査によって算出した住民検診の対象人口率（52.2%）を対象人口に乗じた値

	男 性	女 性	合 計
対象者数	49,518	46,232	95,750
受診者数	2,014	3,040	5,054
受診率	11.0%	17.3%	14.0%

令和5年度のプロセス指標

※50～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区	
			集団	個別
要精検率	7.1% 以下	5.5%	8.2%	8.2%
精検受診率	90.0% 以上	95.2%	98.1%	98.1%
精検未受診率	—	0.6%	0.7%	0.7%
精検未把握率	—	4.2%	1.2%	1.2%
陽性反応適中度	1.9% 以上	2.1%	3.9%	3.9%
がん発見率	0.13% 以上	0.11%	0.32%	0.32%

◆要精検率

要精検率が基準値を超えており、過剰に陽性と判定している可能性があります。検査や判定の方法について改めて点検し、適切な精度管理に努めてください。

◆精検受診率

精検受診率が基準値を達成しています。引き続き、精検受診勧奨や結果把握の取組を進めてください。

◆陽性反応適中度・がん発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
【肺がん検診】

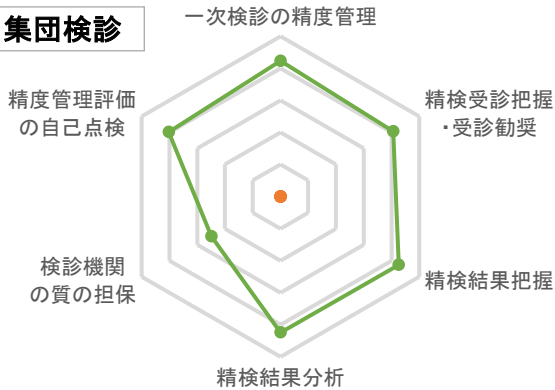
令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

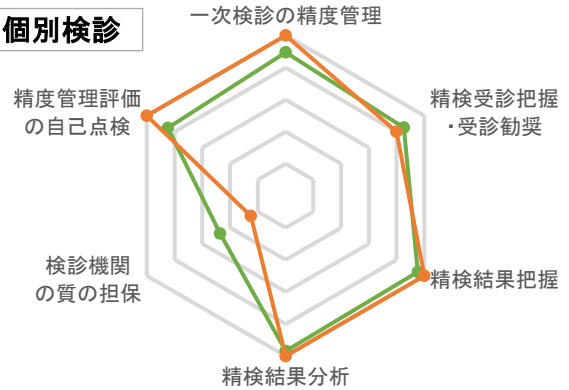
検診方式 胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診	対象年齢 40歳以上	受診間隔 1年に1回	指針外の検査方法
個別	○	○	-

令和7年度の技術・体制指標

集団検診



個別検診



	東京都	大田区	評価
実施率	77.5%		

	東京都	大田区	評価
実施率	82.5%	83.1%	D

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行いましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

令和5年度の受診状況

※40～69歳の数値
調査によって算出した住民検診の対象人口率(55.1%)を対象人口に乗じた値

	男 性	女 性	合 計
対象者数	83,026	77,849	160,875
受診者数	5,070	7,140	12,210
受診率	6.1%	9.2%	7.6%

◆要精検率

要精検率が基準値を達成しています。引き続き、検診機関の精度管理に向けた取組をすすめてください。

令和5年度のプロセス指標

※40～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区	
			集団	個別
要精検率	2.0% 以下	1.7%	1.7%	1.7%
精検受診率	90.0% 以上	73.2%	92.0%	92.0%
精検未受診率	-	3.4%	2.8%	2.8%
精検未把握率	-	23.5%	5.2%	5.2%
陽性反応適中度	1.6% 以上	1.1%	0.9%	0.9%
がん発見率	0.03% 以上	0.02%	0.02%	0.02%

◆精検受診率

精検受診率が基準値を達成しています。引き続き、精検受診勧奨や結果把握の取組を進めてください。

◆陽性反応適中度・がん発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート

【大腸がん検診】

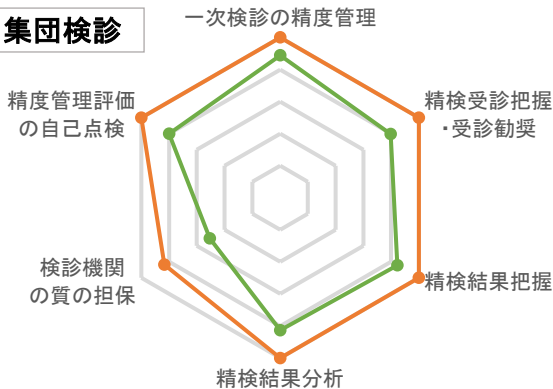
令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

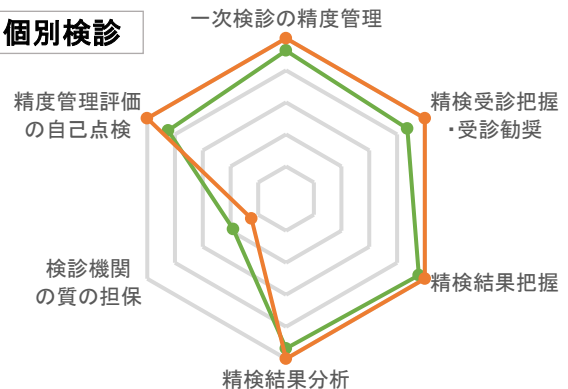
検診方式 便潜血検査	対象年齢 40歳以上	受診間隔 1年に1回	指針外の検査方法
集団/個別	○	○	-

令和7年度の技術・体制指標

集団検診



個別検診



	東京都	大田区	評価
実施率	77.6%	96.8%	B

	東京都	大田区	評価
実施率	81.1%	85.5%	C

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがん検診の正しい情報を伝えましょう。

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがん検診の正しい情報を伝えましょう。

令和5年度の受診状況

※40～69歳の数値
調査によって算出した住民検診の対象人口率(55.3%)を対象人口に乘じた値

	男性	女性	合計
対象者数	83,328	78,131	161,459
受診者数	5,367	9,970	15,337
受診率	6.4%	12.8%	9.5%

◆要精検率

要精検率が基準値を達成しています。引き続き、検診機関の精度管理に向けた取組をすすめてください。

令和5年度のプロセス指標

※40～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区		
			集団	個別	
要精検率	6.2% 以下	5.2%	4.3%	6.7%	4.2%
精検受診率	90.0% 以上	64.5%	81.9%	70.7%	83.0%
精検未受診率	-	11.3%	7.4%	0.0%	8.2%
精検未把握率	-	24.2%	10.6%	29.3%	8.8%
陽性反応適中度	2.6% 以上	2.8%	3.9%	0.0%	4.3%
がん発見率	0.16% 以上	0.15%	0.17%	0.00%	0.18%

◆精検受診率

精検受診率が基準値を満たしておらず、精検未把握率が上がっています。結果把握の体制を整備し、徹底した精検結果の追跡に努めてください。

◆陽性反応適中度・がん発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート

【子宮頸がん検診（細胞診）】

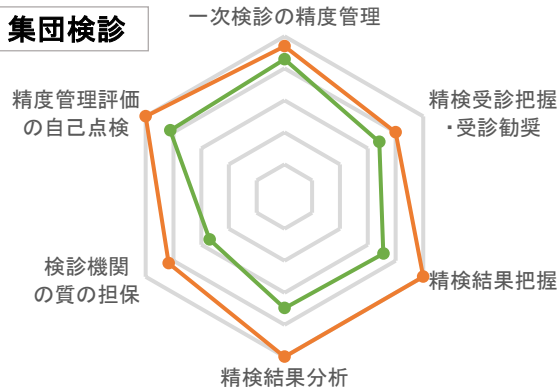
令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

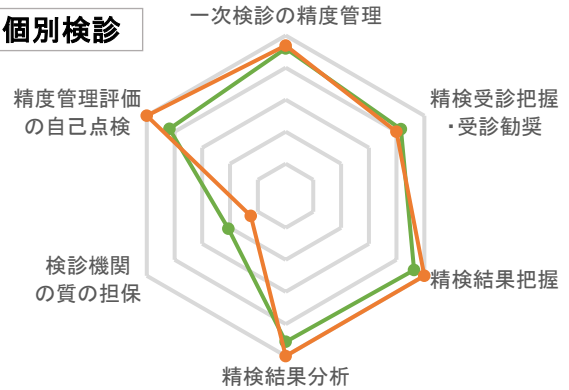
検診方式 子宮頸部の細胞診	対象年齢 20歳以上	受診間隔 2年に1回	指針外の検査方法
集団/個別	○	毎年	-

令和7年度の技術・体制指標

集団検診



個別検診



	東京都	大田区	評価
実施率	71.7%	92.3%	B

	東京都	大田区	評価
実施率	80.5%	81.5%	D

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行きましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行きましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

令和5年度の受診状況

※20～69歳の受診率＝（令和5年度受診者数＋令和4年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数
調査によって算出した住民検診の対象人口率（56.7％）を対象人口に乘じた値

	男性	女性	合計
対象者数		137,534	137,534
受診者数		25,184	25,184
受診率		29.1%	29.1%

◆要精検率

要精検率が基準値を超えており、過剰に陽性と判定している可能性があります。検査や判定の方法について改めて点検し、適切な精度管理に努めてください。

令和5年度のプロセス指標

※20～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区		
			集団	個別	
要精検率	2.7% 以下	2.7%	2.8%	2.3%	2.8%
精検受診率	90.0% 以上	79.5%	77.8%	88.2%	77.3%
精検未受診率	-	4.2%	13.8%	0.0%	14.5%
精検未把握率	-	16.3%	8.3%	11.8%	8.2%
CIN3以上 陽性反応適中度	5.9% 以上	5.3%	4.0%	8.8%	3.7%
CIN3以上 発見率	0.16% 以上	0.14%	0.11%	0.20%	0.11%

◆精検受診率

精検受診率が基準を満たしておらず、精検未受診率が高くなっています。要精検者には、適切な方法で精密検査を受診するよう説明に努めてください。

◆CIN3以上陽性反応適中度・CIN3以上発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。

令和7年度の実施状況

※対象年齢・受診間隔・検査方法については、指針の遵守状況を記載(赤字は指針外)

検診方式 HPV検査単独法	対象年齢 20歳以上	受診間隔 2年に1回	指針外の検査方法
実施なし			

令和7年度時点で、
子宮頸がん検診においてHPV検査単独法を
実施している自治体はありません

大田区

令和7年度東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
【乳がん検診】

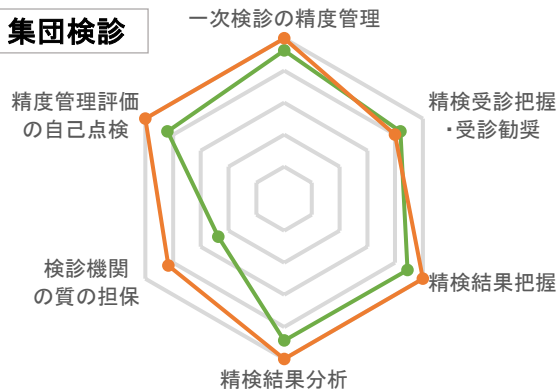
令和7年度の実施状況

※検診方式・対象年齢・受診間隔については、指針の遵守状況を記載（赤字は指針外）

検診方式		対象年齢 40歳以上	受診間隔 2年に1回	指針外の検査方法
マンモグラフィ単独	マンモグラフィ・視触診併用			
	集団/個別	○	○	-

令和7年度の技術・体制指標

集団検診

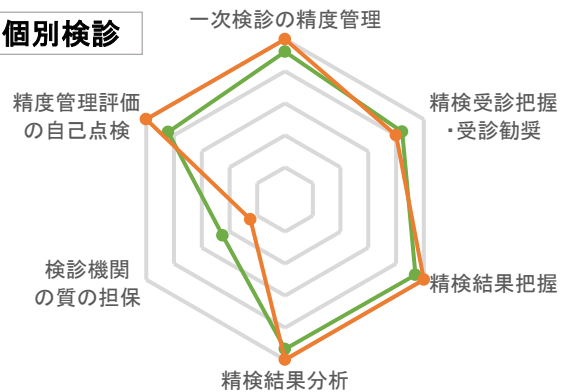


	東京都	大田区	評価
実施率	80.5%	93.5%	B

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行きましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

個別検診



	東京都	大田区	評価
実施率	81.6%	82.3%	C

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標を評価し、改善策をフィードバックしましょう。

「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行きましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

令和5年度の受診状況

※40～69歳の受診率＝（令和5年度受診者数＋令和4年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数
調査によって算出した住民検診の対象人口率（59.5%）を対象人口に乗じた値

	男性	女性	合計
対象者数		84,065	84,065
受診者数		11,767	11,767
受診率		24.3%	24.3%

◆要精検率

要精検率が基準値を達成しています。引き続き、検診機関の精度管理に向けた取組をすすめてください。

令和5年度のプロセス指標

※40～69歳以下の数値（赤字は基準値未達成）

	基準値	東京都	大田区		
			集団	個別	
要精検率	6.8% 以下	7.3%	5.9%	5.8%	5.9%
精検受診率	90.0% 以上	88.5%	88.2%	84.0%	88.7%
精検未受診率	-	2.0%	0.1%	1.2%	0.0%
精検未把握率	-	9.5%	11.7%	14.8%	11.3%
陽性反応適中度	4.3% 以上	4.9%	6.8%	7.4%	6.7%
がん発見率	0.29% 以上	0.36%	0.40%	0.43%	0.40%

◆精検受診率

精検受診率が基準値を満たしておらず、精検未把握率が高くなっています。結果把握の体制を整備し、徹底した精検結果の追跡に努めてください。

◆陽性反応適中度・がん発見率

極端に数値が高い場合は受診者が有病率の高い集団に偏っている可能性があります。引き続き状況を注視してください。